

災害に備える

備蓄を始めよう!



8月の大雨で急激に水位が上昇中の万之瀬川



8月の大雨で発生した土砂崩れ(桐木平)

近年、異常気象による災害が多く発生しています。

7月には線状降水帯による大雨で、北薩地域や静岡県熱海市、山陰・近畿地方などが豪雨被害を受けました。

テレビやインターネットなどで被害の状況を目にした方も多いのではないのでしょうか。

南九州市は大きな被害を受けることなく梅雨明けを迎えることができましたが、今後は台風による災害が発生する危険性も十分にあります。災害に備えるために、まずは備蓄から始めてみませんか？

最低限揃えておきたいもの

1 懐中電灯…停電になると、夜間の移動(トイレなど)が難しくなります。また、手のふさがらないヘッドライトも便利です。予備の電池・電球も用意しましょう。

2 非常食や飲料水…缶詰など、火やお湯を使わずに食べられるものがおすすめです。乳幼児がいる場合は、粉・液体ミルクなどを用意しましょう。

3 携帯ラジオ…小型で軽く、AMとFMのどちらも聴けるものを用意しましょう。スマートフォンなどでも聴ける場合があります。予備の電池・バッテリーは多めに準備しましょう。

4 緊急薬品や常備薬…予期せぬけがに対応できるような傷薬やばんそうこう、ガーゼなどがあると便利です。常備薬があれば忘れずに準備しましょう。

5 持ち出し用のリュック・バッグ…使用していないリュックなどの中に防災グッズをまとめておき、すぐに持ち出せる状態にしましょう。

6 その他…衣類、ライター(マッチ)、ナイフ、ビニール袋、紙おむつや哺乳瓶など。またレインコートがあると雨天時の移動が便利になります。



☑ チェックリスト

最低限揃えておきたいもの

- ☐ 懐中電灯(乾電池含む)
- ☐ 非常食
- ☐ 携帯ラジオ
- ☐ 救急薬品、常備薬
- ☐ 現金(硬貨も便利)
- ☐ 衣類
- ☐ ライター(マッチ)
- ☐ ナイフ
- ☐ ビニール袋
- ☐ 預金通帳
- ☐ 印鑑
- ☐ 免許証など
(本人確認できるもの)

その他

- ☐ 毛布
- ☐ 卓上コンロ
- ☐ ガスボンベ
- ☐ ラップ
- ☐ 寝袋
- ☐ 洗面用具
- ☐ ドライシャンプー
- ☐ マスク
- ☐ トイレットペーパー
- ☐ 衛生用品

太字で記載されたものは、最低限準備しておく目安な持ち出し品です。また、このチェックリストはあくまでも一例であり、家族構成によっては最低限準備しておきたい持ち出し品は異なります。

家族でしっかり話し合い、必要な持ち出し品を決めることが重要です。

最低でも3日分(できれば1週間分)を目安に備蓄を行いましょー！

非常に広い範囲で甚大な被害が及ぶ場合、道路の寸断などで食料や生活用品などの支援物資が届かないことや、ライフライン(電気・ガス・水道)が停止することが予想されます。

特に水と食料は、命を守ることに繋がります。自分と家族のものは3日以上備えておきましょう。1人当たり、1日3リットルが目安となっています。ペットボトルのミネラルウォーターのほか、ポリ容器に水をためておくのも便利です。



ちょっと待って！

すでに3日分を用意できない場合は、どうすればいいの？



すぐに用意できない場合はローリングストックを採用し、1日分の備蓄から無理なく始めてみましょう！

ローリングストックとは

日常的に使うような保存性のよい食べ慣れた食料品(缶詰やカップ麺など)を、少し多めに『買い置き』し、その買い置き(備蓄)した食料品を定期的に食べて、食べた分を買い足すことです。

この方法だと、常に一定量の食料品を備蓄することになります。

意図せず実践されている方も多いのではないのでしょうか。

これなり始められるかも！



ローリングストックの図



最後に

近年、頻発する大災害が「もし私たちの地域で起きたら」と、災害を「他人事」ではなく「自分のこと」として捉え、考える機会になったのではないのでしょうか。

「自分だけは大丈夫、これまで大丈夫だった」など災害慣れない、また、災害リスクを過小評価しないために、日頃から避難経路の確認や危険箇所の確認、いざという時のために家庭での備蓄のほか、発災時の連絡先・避難先など家族ルールを決め、災害から命を守ることを心がけましょう。



防災安全課 神蘭省吾 課長